

# 改訂第4次早島町総合計画 基本計画効果検証

令和2年9月

まちづくり企画課

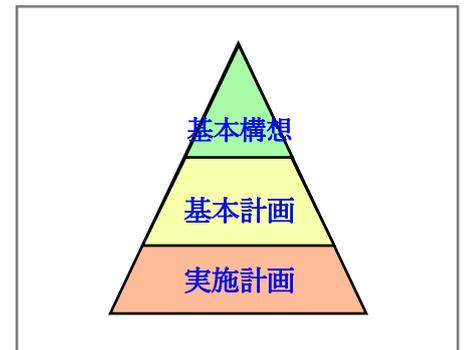
# 1. 改訂第4次早島町総合計画について

## 1. 総合計画とは

自治体における全ての計画の基本となる最上位計画となるもの。

### (1) 総合計画の構成

- ・目指すまちの将来像を定める 『基本構想』
- ・その目的を達成するための手段である 『基本計画(前期・後期)』
- ・その手段の具体的な進め方を示す 『実施計画』



### (2) 計画期間

- ・基本構想 10年
- ・基本計画 概ね5年

H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2
基本構想									
前期基本計画					後期基本計画				

### (3) 総合計画の役割

- 役割1. 町を運営していく総合的な指針（町内・庁内に宣言）
- 役割2. まちづくりの共通目標（町民・職員が共有）
- 役割3. まちづくりの主張（町外：対外的なアピール）

### (4) 総合計画に求められること

- ・長期的な目標の提示（まちの将来像を示す）
- ・継続性（一貫性）が必要（従前の総合計画を踏まえる）
- ・時代の潮流（社会経済情勢）への対応
- ・住民意見の反映（総参加のまちづくり）
- ・個別法定計画との整合（各法定計画の主旨を重視し束ねる）
- ・P D C Aサイクルの実践（計画のメンテナンス）
- ・財政との調整（限られた財源のなか事業の優先度づけ）

#### 【参考】総合計画策定の法的な位置づけの変更

基本構想については、地方自治法第2条第4項において、市町村に対し議会の議決を経て定めることが義務付けられていたが、平成23年5月2日に「地方自治法の一部を改正する法律」が公布され、今現在においては基本構想の法に基づく策定義務は無くなった。また、町策定条例も制定していない。

## 2. 改訂第4次総合計画の検証について

### (1) 改訂第4次総合計画の検証

#### ① 計画期間中の人口推移から見た総合計画全体的の検証

・総人口の推移（住民基本台帳：基準日4月1日：人）

人口は、都市活力のバロメーターとしてよく使用されている。現在の人口が継続的に減少し続ける「人口減少社会」において持続可能な都市経営を図るためには、人口の増加対策に取り組むことが必要となる。

計画期間中「人口増加」対策として、子育て環境の充実、教育環境の充実、高齢者福祉の充実、良質な住環境の整備を重点的に施策展開した結果、目標人口12,500人を2年前倒しで達成でき、良好な成果が得られた。

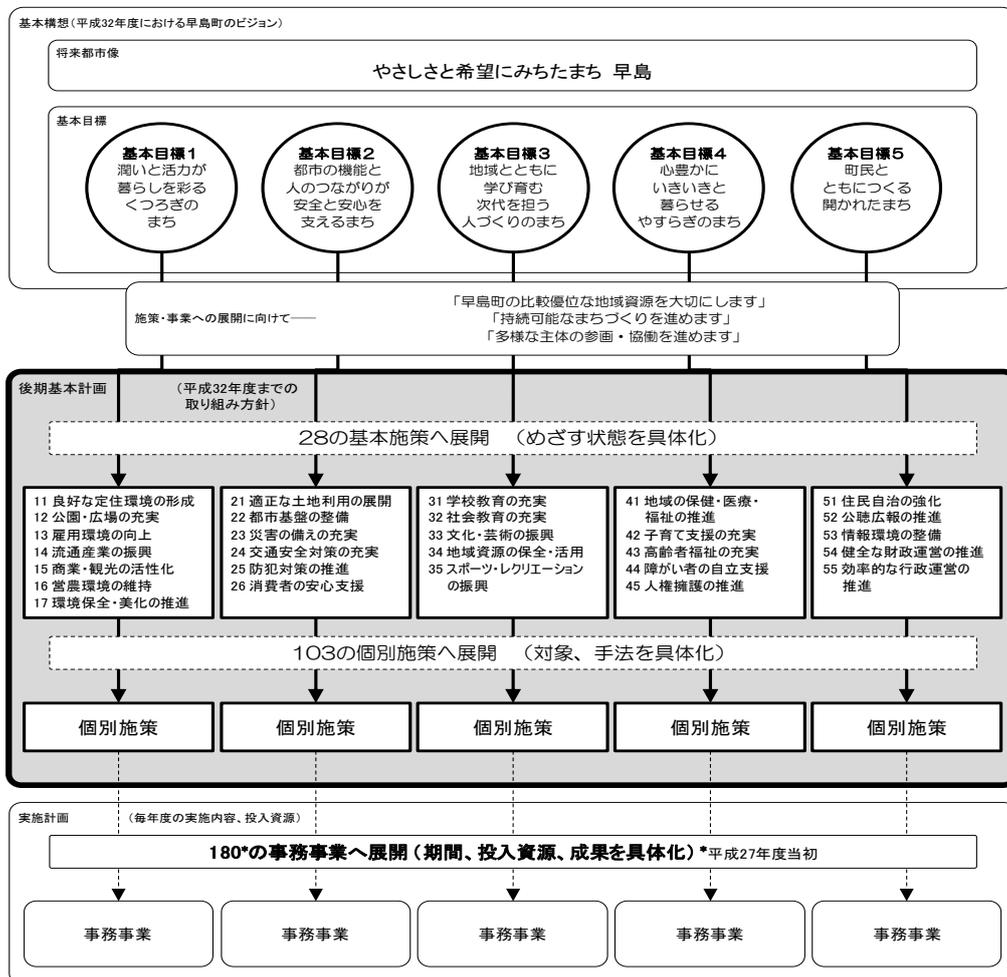
■総人口の推移（住民基本台帳：基準日4月1日：人）

《後期基本計画の計画期間》

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
総人口	12,306	12,291	12,222	12,224	12,214	12,249	12,287	12,379	12,484	12,588	12,637

#### ② 基本目標の検証

基本計画は28の基本施策から構成され、施策毎に「施策目標」と「数値指標」を設定している。この数値指標を用いて内部評価を行うとともに、町民アンケート満足度指数を用いた評価（外部評価）により、総合的に基本目標毎の評価を行い、課題等を見出す。



## (2) 基本目標の検証結果

### ① 一次評価（数値指標による内部評価）

各基本計画の数値指標の評価は、下表の結果となった。

基本目標	◎ (1% = 1点)	○ (1% = 0.75点)	△ (1% = 0.5点)	× (1% = 0点)	把握できず	合計 指標数	評価点数 (満点100)
<b>基本目標 1</b> 潤いと活力が暮らしを彩るくつろぎのまち	9 (34.6%)	3 (11.5%)	5 (19.2%)	5 (19.2%)	4 (15.4%)	26	52.9
<b>基本目標 2</b> 都市の機能と人のつながりが安全と安心を支えるまち	11 (50.0%)	5 (22.7%)	3 (13.6%)	1 (4.5%)	2 (9.1%)	22	73.9
<b>基本目標 3</b> 地域とともに学び育む次代を担う人づくりのまち	5 (27.8%)	9 (50.0%)	3 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	18	73.6
<b>基本目標 4</b> 心豊かにいきいきと暮らせるやすらぎのまち	8 (44.4%)	3 (16.7%)	5 (27.8%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	18	70.8
<b>基本目標 5</b> 町民とともに作る開かれたまち	10 (58.8%)	5 (29.4%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	17	83.8
<b>全 体</b>	43 (42.6%)	25 (24.8%)	17 (16.8%)	8 (7.9%)	8 (7.9%)	101	71.0

・全体をみると評価点数は71点、◎と○を合わせた割合は、約7割となっており、概ね順調に推移していた。

・基本目標5については、評価点数は約84点、ほぼ全てが◎か○であり、非常に良好であった。

・指標の中には、把握できないものが8個あったことから指標の見直しの必要がある。

・基本目標1については、評価点数も低く、×と△を合わせると約40%程度となることから、何らかの見直しの必要がある。(次期基本計画策定時に実施予定)

② 二次評価（町民アンケート満足度指数による外部評価）

基本目標の町民アンケート満足度指数\*は以下のとおりとなった。

基本目標	H22満足度 指数	H28満足度 指数	R1満足度 指数	R1満足度 点数 (満点100)
<b>基本目標 1</b> 潤いと活力が暮らしを彩るくつろぎのまち	2.97	2.94	3.08	61.6
<b>基本目標 2</b> 都市の機能と人のつながりが安全と安心を支えるまち	3.25	3.02	3.17	63.4
<b>基本目標 3</b> 地域とともに学び育む次代を担う人づくりのまち	3.30	3.12	3.38	67.5
<b>基本目標 4</b> 心豊かにいきいきと暮らせるやすらぎのまち	3.19	3.18	3.39	67.7
<b>基本目標 5</b> 町民とともに作る開かれたまち	3.27	3.22	3.29	65.8
<b>全 体</b>	3.20	3.10	3.26	65.2

\*項目ごとの満足度（5段階評価）に5点から1点までを配して加重平均を取った値。

- ・満足度指数の推移をみると、H28では全ての目標で前回を下回っており、R1では全ての目標で前回を上回っていた。
- ・R1では、目標2以外は全てH22より高い数値となっていた。
- ・目標1が相対的に低くなっており、「町での就業の場」が特に低かったことに起因している。
- ・目標2も若干低くなっており、「道路の整備状況」「道路・交通の安全」の指数が3を下回っていることに起因している。
- ・目標3については、「観光PRなどの情報発信」「町外との交流の場」の指数が3を下回っているものの、教育関係の指数が高くなっていることから、2番目に高い指数となっている。
- ・目標4については、「子どもの遊び場の整備状況」が低くなっているが、その他の子育て関係の指数が高かったことから1番高い指数となっている。
- ・目標5については、平均的な指数が多いが、「広報紙やホームページなどの広報」の指数が高かった。

### ③ 総合評価

一次評価及び二次評価の点数を合算すると下記のとおりとなった。

基本目標	一次評価 (満点100)	二次評価 (満点100)	総合評価 (満点200)
<b>基本目標 1</b> 潤いと活力が暮らしを彩るくつろぎのまち	<b>52.9</b>	<b>61.6</b>	<b>114.5</b>
<b>基本目標 2</b> 都市の機能と人のつながりが安全と安心を支えるまち	<b>73.9</b>	<b>63.4</b>	<b>137.2</b>
<b>基本目標 3</b> 地域とともに学び育む次代を担う人づくりのまち	<b>73.6</b>	<b>67.5</b>	<b>141.1</b>
<b>基本目標 4</b> 心豊かにいきいきと暮らせるやすらぎのまち	<b>70.8</b>	<b>67.7</b>	<b>138.6</b>
<b>基本目標 5</b> 町民とともにつくる開かれたまち	<b>83.8</b>	<b>65.8</b>	<b>149.7</b>
<b>全 体</b>	<b>71.0</b>	<b>65.2</b>	<b>136.2</b>

- ・全体をみると総合評価は7割近い数値となっており堅調と思われる。
- ・基本目標1については他の基本目標と比較すると低くなっている。要因としては、達成が難しい指標や把握できない指標、人口増により好ましくない方向に動いたことにより、一次評価が低くなったことが挙げられる。これらについては、次期総合計画の基本計画部分で見直しを検討していく必要がある。
- ・評価については、今回が初めての試みであったため比較するものがないが、この数値を基準に翌年以降の推移を確認していく必要がある。

(3) 一次評価の結果見出された事項

① 基本目標1について

△又は×となった指標及び背景、課題など	望ましい 変化
---------------------	------------

11 空き家バンクへの物件登録数（件）	増加
---------------------	----

年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
0	—	—	1	1	0	0	0		△

背景、課題など 制度開始当初は登録があったが、空き家バンクでなく不動産事業者にお願いすることが多い傾向がある。このため、登録はあまりなく、そのような相談もないことから、早島町に空き家バンクが必要なのかという議論も必要。もし、空き家バンクに力を入れていくのであれば、担当職員を増やし、周知の徹底や職員による空き家探しなどを進めていく必要がある。

11 住宅などの建築着工数（市街化区域内）（戸）	増加
--------------------------	----

基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
73	46	45	72	66	52	—	—		×

背景、課題など 民間による住宅団地の整備等により、子育て世帯の転入者が多くなっておりが、新築着工数のみで見ると堅調に推移している。しかしながら、市街化区域内で見ると、基準年が高くなっており、その後の建築着工数は少なくないものの基準年より低下している。

本指標は町内全体の住宅新築着工数の指標に置き換えればよいと思われる。

11 日用品などを扱う小売業の事業所数（件）	増加
------------------------	----

基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
31	21	—	19	—	—	—	—		×

背景、課題など 役場周辺にはスーパーやドラッグストアはあるが、日常の買い物は、倉敷市の中庄や茶屋町に行く人も多いと思われる。加えて、インターネット通販の利用が普及している現在では、町内での新規出店は難しいのではないかと感じる。

13 事業所数（件）	増加
------------	----

年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
480	463	—	—	—	472	—	—		△

背景、課題など 大規模な物流倉庫は増えたが、減少した中小の事業所数が多かったことから全体数として減少したものと考えられる。

14 流通関連企業交流会の延べ参加企業数（社）	増加
-------------------------	----

年度別実績値									
基準値	H29	H30	H31	R2					評価
8	—	—	—	—					△

背景、課題など 1度だけ実施をしたが、木の伐採や虫の除去などの御用聞きがメインとなってしまう、目的である流通関連企業との関係が強まったかどうかは不明。流通関連企業との関係強化にあたっては継続していく必要がある。内容については、再考する必要があるが今後は岡山連携中枢都市圏事業の中で実施していくことを検討する。

15 小売業の年間商品販売額（百万円）	増加
---------------------	----

年度別実績値									
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価
9,837	—	—	—	9522	—	—	—	—	△

背景、課題など 小売店の減少やインターネット通販の利用の普及していることによると思われる。

15 小売業・飲食店の事業所数（件）	増加
--------------------	----

基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
85	62	—	—	—	—	—	—		×

背景、課題など 生活圏が町内のみでなく近隣の倉敷市や岡山市まで及んでおり、町内にはないものは町外で満たされていると感じる。

16 認定農業者数（人）	増加
--------------	----

年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
9	9	10	9	9	9	11	9		△

背景、課題など 新規で認定を受ける農業者は少数であるが、継続して認定を受ける農業者が大部分のため、人数の大きな変動はないまま推移している。農業基盤整備及び集約化により、町の農業の中心となる担い手を確保する必要がある。

17 早島町の事務・事業における二酸化炭素総排出量 (t-CO2)	減少
-----------------------------------	----

年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
1,138	1951.1	1967.5	1961.1	1970.8	1749.9	1490.9	—		×

背景、課題など 対象施設等が増えたことにより増加となった。

17 町内のごみ排出量 (t)	減少
-----------------	----

年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
4,298	4866	4360	4303	4303	4331	4424	—		×

背景、課題など 人口増加によりごみ排出量も増加となった。

把握ができなかった指標
12 子ども・子育てする親・高齢者の公園利用に関する満足度
12 外で遊ぶ子どもの割合
12 まちなかに自然を感じる人の割合
17 町内の森林面積

② 基本目標 2 について

△又は×となった指標及び背景、課題など									望ましい 変化
22 施設維持管理費(配給水管修繕費) (百万円)									減少
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
12.9	12.9	12.4	16.0	24.0	20.0	23.8	—		×
背景、課題など 昭和 40 年代に造成された団地の配水管等が経年劣化により破損し、漏水箇所が増加傾向である。計画的に団地内の老朽管を更新して行くことで、修繕費の減少を目指したい。									
23 火災件数 (件)									減少
年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
1	1	1	2	6	3	4	—		△
背景、課題など 火災発生の要因は様々であるので、効果が見えづらいが、防火意識の啓発活動を粘り強く継続することが必要と思われる。									
26 自衛のための知識を得る消費者教育研修会に参加した延べ人数 (人)									増加
年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
38	42	41	16	34	25	—	—		△
背景、課題など 研修会の参加者が、主に消費者問題研究協議会(早島支部)の会員のみとなっていることから、他団体や一般町民に対する研修会の実施を検討していきたい。									

26 消費生活相談のうち契約前に相談に来られた件数の割合 (%)								横ばい	
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
78.8%	56.5%	59.0%	50.0%	26.6%	11.6%	21.8%	—		×
<p>背景、課題など 集計方法の変更により、望ましい結果とはならなかった。今後も契約前の相談の重要性を広報誌やホームページ等で周知していきたい。</p>									

把握ができなかった指標									
22 既成市街地における歩行者数									
23 災害時の対応について家族や隣近所で話し合っている町民の割合									

③基本目標3について

△又は×となった指標及び背景、課題など								望ましい 変化	
31 児童・生徒の問題行動件数 (件)								減少	
年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
0	2	1	8	4	3	3	—		△
<p>背景、課題など 中学校において、生徒間暴力が発生しているため、コミュニケーション能力を高めていく必要がある。問題行動件数増の要因としては、いじめなどの定義が明確となり、今までは計上していなかったものもカウントされるようになったことが大きい。今後も教育相談やアンケート等を継続して実施することで、児童生徒の気持ちに寄り添いながら問題行動を減少させていく。</p>									

34 早島への町民の愛着度 (%)	増加
-------------------	----

年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
42	—	—	34	—	—	37	—		△

背景、課題など 最近では子育て世代の転入も多いことから、そうした人に早島町に愛着を持ってもらうことが必要。郷土愛を育てていくため、引き続きはやしま学などを実施していく必要がある。また、住みよいまちになれば愛着を持ってくれる人も増えると考えられることから、今後も町民の満足度が高い行政サービスを提供していく必要がある。

35 スポーツグループの数 (団体)	増加
--------------------	----

年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
62	59	61	58	57	58	57	—		△

背景、課題など 団体を持続するために類似団体の統合を推奨していく。

把握ができなかった指標	
31 保護者アンケート、学校運営協議会によるビジョン取組評価	

④基本目標 4 について

△又は×となった指標及び背景、課題など									望ましい 変化
41 健康寿命（男）（歳）									上昇
年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
79.17	81.12	80.29	79.14	—	—	—	—		×
<p>背景、課題など 健康寿命が短縮傾向であり、高齢化に伴いフレイル予防の必要性も増している。今後は町民主体の健康づくり、一次予防に重点を置いた健康づくり、地域ぐるみで健康づくりを支援する体制づくり、生涯にわたる切れ目ない健康づくりなどを進めていきたい。</p>									
42 保育所入所待機児童数（人）									解消
年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
0	0	21	8	10	8	6	—		△
<p>背景、課題など ○共働きの増加や人口増加による保育ニーズの増加している。</p> <p>○町内での事業所内保育の実施がなく、保育園は3園あるが、待機児童が発生している状況。</p> <p>○民間事業所の参入や近隣市町村の受入れ等、多方面から待機児童解消に向けて検討する必要がある。</p> <p>○教育・保育ニーズに応じた、様々な事業を展開する必要がある。</p> <p>○認可保育園の待機児童の解消に向けて、保育園等の定員増について検討していく。</p> <p>○保育士養成学校等に働きかけを行い、早島町内で保育士になりたいと考える人材発掘を行い、町独自の保育士処遇改善補助金制度を運用していく。</p>									

○保育事業の運営については民間活力を積極的に導入し、保育園もしくは幼稚園において、質の高い保育が提供されるよう支援を検討する。

○地域型保育事業（小規模保育・家庭的保育・居宅訪問型保育・事業所内保育）等との連携を図り、様々な保育ニーズに応じた新たな保育事業については、柔軟な受け入れができるよう体制を整えていく。

○近隣の市町との連携を図り、町外の教育・保育事業の広域利用を図る。

42 ふれあいサポートセンター年間登録者数（人）

増加

年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
171	177	181	56	61	64	61	—		△

背景、課題など おまかせ会員の減少。

内容についてPRを強化し、会員の確保に努める。また、急な援助希望があった場合の迅速な対応に努める。

育児の援助を頼みやすくするため、会員同士の交流の場を設ける。

対象児童を小学6年生までに拡大しており、今後も継続して実施する。

おまかせ会員の有資格者の登録増員に努める。

42 ふれあいサポートセンター年間利用者数（人）

増加

年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
431	649	735	472	485	382	368	—		△

背景、課題など おまかせ会員の減少。おまかせ会員の登録増員とともに、研修等の実施によりおまかせ会員の専門性の向上を図る必要がある。

## 43 要介護・要支援認定となった町民の割合（％）

低下

## 年度別実績値

基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
2.5	5.4	5.5	5.5	5.9	5.8	5.6	5.5		×

背景、課題など 高齢化の進展が予想され、認定者数は増加が見込まれる。要介護状態にならないように介護予防の取組を一層進める必要がある。

## 45 法律相談の件数（件）

増加

## 年度別実績値

基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
34	30	13	20	20	28	31	—		△

背景、課題など 年度ごとにばらつきがあるが、法律相談は実施日が決まっているため、急ぐ案件は法テラスの無料相談等を利用していると考えられる。引き続き、行政相談の日程を広報紙やHPで町民へ周知し、相談の場を提供する。

## 45 行政相談の件数（件）

増加

## 年度別実績値

基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
3	0	2	0	1	2	1	—		△

背景、課題など 行政相談について周知不足または他相談場所で解決済なのか不明。引き続き、行政相談の日程を広報紙やHPで町民へ周知し、相談の場を提供する。

⑤基本目標 5 について

△又は×となった指標及び背景、課題など									望ましい 変化
55 庁外の団体と締結している協定の数（件）									増加
年度別実績値									
基準値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		評価
0	0	0	0	0	0	0	0		△
背景、課題など 連携中枢都市圏は行っているが、効率的な行政運営の推進として協定は行っておらず、指標の変更もしくは廃止を検討する。									

把握ができなかった指標									
51 地域住民とNPO・ボランティア団体・企業が参加し開催する活動に参加した住民の延べ人数									